

信州大学医学部附属病院 消化器内科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2025年11月25日

「MASLDにおける機械学習クラスタリングに基づくリスク層別化と予後評価:信州大学コホートを用いたグループ化と外部検証」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。
この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	6680
研究課題名	MASLDにおける機械学習クラスタリングに基づくリスク層別化と予後評価:信州大学コホートを用いたグループ化と外部検証
所属(診療科等)	第二内科(消化器内科)
研究責任者(職名)	木村岳史(講師)
研究実施期間	医学部長による許可日～2030年3月31日
研究の意義、目的	本研究の目的は、信州大学における MASLD (Metabolic dysfunction-associated steatotic liver disease) コホートに対して機械学習クラスタリングを用いて患者群を分類し、臨床情報や検査データに基づいてリスク層別化を行うことである。これにより、各グループ間で肝関連イベント (Liver-related events: LRE) や心血管イベント (Major adverse cardiovascular events: MACE) の発症リスクを比較・評価する。さらに、大分大学医学部および大垣市民病院の既存コホートを利用して、信州大学で得られた所見の再現性を検証し、研究結果の汎用性を確認することを目指す。本研究により、MASLD 患者の予後予測精度が向上し、臨床現場での個別化医療や適切なリスクマネジメントに貢献することが期待される。
対象となる方	1990年1月1日から2025年3月31日までの間に、信州大学医学部附属病院において診療を受け、MASLDと診断された方。
利用する診療記録	診療で得られた既存データ(匿名化済み臨床情報・検査結果・画像・病理・フォローアップ情報など)。
他機関からの情報を受け取る方法	電子的配信により受け取ります。
研究方法	機械学習クラスタリングを用いて、信州大学 MASLD コホートの患者群を分類、クラスタ間で LRE・MACE の発症リスクを比較する。その後、・大垣市民病院・大分大の既存コホートを外部検証に用い、再現性・汎用性を評価。

共同研究機関名	大垣市民病院（責任者：豊田 秀徳）、大分大学医学部（責任者：内田 宅郎）
研究代表者	主任施設の名称：信州大学 研究責任者：木村 岳史
問い合わせ先	氏名（所属・職名）： 木村 岳史（信州大学医学部第二内科・講師） 電話：0263-37-2645

既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、検体の採取の必要はありません。

利用する情報からは、患者様を直接特定できる個人情報を削除し、主任施設である信州大学に提供します。

研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌などで発表しますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用するご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、参加取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあります。